



市民の声を正しく美しく伝え実行！！

池上まさみ 通信

2021年の新年を迎えて

2021年1月発行 発行者 池上まさみ後援会
〒321-4323 真岡市東沼1564番地2
TEL・FAX 0285-82-6324
E-mail: yume@ikegami-masami.com

穏やかな新年を迎え心よりお喜び申し上げます。昨年公私共々大変お世話になりました。令和2年は新型コロナウイルス感染が全世界に広まり、日本各地をはじめ、新しい生活様式が余儀なくされ医療、経済そして、学校の休校に至るなど教育分野まで様々なところで影響がでました。イベント関連では8月の東京オリンピック・パラリンピックの開催延期をはじめ、本市においても3月の全国いちごサミットも残念ながら再延期となりました。そして特に飲食店へのダメージは重く、本市でも食べチケットを発行するなど飲食店支援を行っているところでもあります。ワクチンの開発も進んでいるところですが、いまだに接種に関する課題を含め、収束が見えないところでもあります。今年こそは、平常の生活にいち早く戻れることを願うものであります。また、今年の干支は丑年であり「これから発展する前触れの芽が出る」との年になるとも昔から言われており、今が大切な我慢の時期とも思われます

これからも市議会議員として、市民の皆様方が少しでも安全・安心して暮らしていけるようチェック機関としての役割を忘れずに、さらに皆様方のご意見・ご要望を真摯にお聞きして議会へ反映させていただきます。今後共ご支援・ご指導をよろしくお願いいたします。

「もおか新時代」会派視察報告

10月19日(月)に「道の駅たかねざわ元気アップ村」に新しく出来たグランピング施設を視察してまいりました。グランピングとは手ぶらで贅沢なアウトドアが体験できる施設です。本市でも今年5月からもおか井頭温泉チャットパレス付近に、新たにグランピング施設を2棟建設することから先新地の状況や課題などを、コロナ禍の感染対応に十分に注意して調査しました。

現地に行って驚いたのは、トレーラーハウスを上手に利用し、プライベート空間を確保しつつ、南国を思わせより高級感を醸し、水辺との調和を生かしておりました。すでに予約が満杯であり、いかに「人」を集客しつつ現地を含め周辺の良さを知ってもらうか。アイデア次第で変わるとも興味深い内容でした。施設のあり方を含め大変参考になりました。



登壇させて頂きました。12/7 13:00~

12月定例議会は、11月30日(月)から12月16日(水)に渡って行われました。今議会の執行部からの議案は、①押印の見直しに伴う関係条例の整理に関する条例の制定について②真岡市まちづくり基金条例の制定について③真岡市いちごサミット基金条例の制定について④真岡市庁舎建設基金条例の一部改正⑤令和2年真岡市一般会計補正予算(第16号)⑥人権擁護委員の候補者の推薦について⑦指定管理者の指定など、21議案が提出されました。

質疑・一般質問は、7日に5名・8日に4名の計9名の議員が登壇し、私は次の3件について質問しました。



*再質問については、紙面上の関係で一部省略させていただいております。

1件目 奨学金制度について【答弁者】田上教育長・石崎教育次長

(1) 奨学金の利用状況とPRについて

質問 過去5年間の奨学金の(修学資金・入学金)新利用状況はどのようになっているのか。

- 修学資金については、年度募集人員は20名程度
平成28年度 大学生6名、平成29年度 大学生6名
平成30年度 大学生2名、令和元年度 大学生1名・高校生1名
令和2年度 大学生1名
入学資金については、年度募集人員5名程度
平成28年度は0名 平成29年度2名、
平成30年度から令和2年度までは0名であります。



質問 奨学金のPR方法についてはどのようになっているのか。

- PR方法等については、ウィクリーニュースもおか、広報もおか、いちごチャンネル市ホームページに掲載し、その他として市内の9つの中学校や芳賀地区の高校に個別に募集要項を案内している。

要望

本市の奨学金制度の認知度がどれくらいなのか不明である。その為にPR方法として、県内の高校や茨城県内への高校へも募集要項を早急に進めるよう要望する。

(2) 利用者の範囲について

質問 奨学金制度の利用範囲について、現状の利用状況から見ても大学院生迄の拡大について考えはないのか。

- 今後、先進事例などを調査研究し、必要性などを検討します。

要望

大学の工学部では、卒業生の約37%が大学院に進学している状況であることを含め、本市に良き人材を確保するためにも、現状の利用状況からも早急に進めるよう要望する。

(3) 給付型奨学金について

質問 若い人の定住も鑑み、給付型奨学金の考えは今後どのように考えているのか。

- 本市の奨学金制度は、市民からの貴重な寄附金を原資として基金を設け、無利子の奨学金として貸与し、卒業後に返還された資金を次の方に貸与するサイクルで維持しているため、新たな財源が必要となることから、引き続き貸与型の制度を維持していきたいと考えている。
- 本奨学金をはじめ、公的な奨学金を利用し、4年生以上の大学を卒業した方が、本市に3年以上住民登録があるなどの一定の条件を満たせば、返還額の全部または、一部について補助する真岡市就労者定住促進奨学金返還支援事業をPRして促進していく。

要望

給付型奨学金制度は県内においても4市4町でも導入されており、本市でも更なる前向きな検討を要望いたします。

2件目 公営合葬式墓地について 【答弁者】石坂市長

(1) 合葬式墓地の必要性について

質問 合葬式墓地の必要性をどのように考えているのか。

- 熊倉墓地と長田霊園合わせて2,111区画の墓地を有しているが、沢山の遺骨を一度に合祀する合葬式墓地の需要が高まっていると認識している。今後は、公設墓地としての整備が必要であると考えている。



兵庫県明石市石ケ谷墓園

(2) 公営墓地の計画について

質問 今後の合葬式墓地と公営墓地の計画については、どのように考えているのか。

- 他市等の設置状況の調査や視察等を実施しており、その結果をもとに建設を前提に検討していく。
- 公営墓地(区画式墓地)の整備については、令和元年度に41区画、令和2年度に39区画を分譲する一方で、市に返還が令和元年度は15区画あり、令和2年度はすでに5区画あることから今後の需要の状況を見極めながら整備していく。

3 件目 健康診断について

【答弁者】 石田健康福祉部長

(1) 本市の特定検診の受診率について

質問 本市の特定検診受診率は、他市町に比べてどのような位置になっているのか。

- 平成 30 年度実績で栃木県平均の 35.6%に対して、本市は 45.6%で県内 14 市中においては 4 位であり、県内 25 市町では 8 位と上位に位置している。

(2) 返礼としての金券（300 円）について

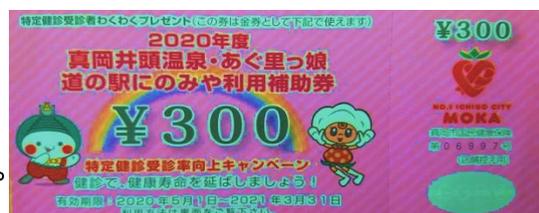
質問 特定検診の結果と共に、金券 300 円が送られてくることになった経緯は。

- 健康未受診者は「検診を毎年受けない」「検診を全く受けない」という健康無関心者が多い為、その対策として平成 26 年度からの受診率向上の為の施策である。

質問 この金券の予算及び発行枚数に対しての執行率利用率はどれくらいなのか。

- 予算額は令和元年度 1 5 1 万 2 千円であり執行率は 75.4%です。また、発行枚数は 6,441 枚で利用率は 59% (3,800 枚) である。

再質問 受診率が向上した現在、返礼としての金額や利用できる店等の見直しは考えていないのか。



- 利用補助券（金券 300 円）の見直しについては、内容が現在より魅力的なものになるよう、利用可能な場所の拡大を含め、金額については、国民健康保険事業予算と整合を図りながら検討していく。

(3) 特定検診時のガン検診について

質問 特定検診にオプションとしてがん検診にお金をその場で徴収して実施しているが金券を廃止して無料にならないのか。

- がん検診は、一般の検診事業で実施しており、検査料金の 1 割を受益者負担として徴収している。利用補助券（金券 300 円）とがん検診のお金の徴収は目的が異なる事から、利用補助券を廃止してがん検診を無料にする事は考えていない。

要望

コロナ禍のこの時期に、現金を扱うことは衛生面や負担を考えると見直しが必要ではないかと思えます。早急の検討及び対応を要望する。

Q【教えて？】

*発熱時の相談及び医療体制は、どのようになっているのか。

A【お答えいたします！】

- 発熱の場合は、かかりつけ医等最寄りの医療機関に電話相談
連絡できない場合は、県の受診・相談センターに連絡

☎0570-052-092（土日、祝日含む24H）

その後、案内された方法で医療機関にて受診。

- 医療体制の整備状況は新型コロナウイルス感染症対策本部事務局にて確認（日々に変化している為）

☎028-623-2826 FAX028-623-3920